

## 薬剂部

### Hospital Pharmacy

教授	足立伊佐雄	Isao Adachi
准教授	加藤 敦	Atsushi Kato
助教 (前)	蓑島 由佳	Yuka Minoshima
助教	栗山ちなみ	Chinami Kuriyama
副部长	三村 泰彦	Yasuhiko Mimura
薬剂主任	小野 敦央	Atsuo Ono
薬剂主任	川尻 憲行	Noriyuki Kawashiri
薬剂主任	山之内恒昭	Tsuneaki Yamanouchi
薬剂主任	中川 洋子	Youko Nakagawa
薬剂师	格谷美奈子	Minako Kakutani
薬剂师	藤田 智弥	Satomi Fujita
薬剂师 (前)	上谷 幸男	Yukio Kamitani
薬剂师	高木 昭佳	Akiyoshi Takaki
薬剂师	村崎 善之	Yoshiyuki Murasaki
薬剂师	加藤 典子	Noriko Kato
薬剂师	須佐 充	Mitsuru Susa
薬剂师	渡部 有貴	Yuki Watanabe
薬剂师	窪田佳代子	Kayoko Kubota
薬剂师	布谷 真子	Masako Nunotani
薬剂师	庄司由起子	Yukiko Shoji
薬剂师	吉田 睦浩	Tomohiro Yoshida

#### ◆ 原著

- 1) Kato, A., Kato, N., Miyauchi, S., Minoshima, Y., Adachi, I., Ikeda, K., Asano, N., Watson, A.A., Nash, R.J.: Isolation of iminosugars from *Baphia nitida* Lodd. *Phytochemistry*, 69: 1261-1265, 2008.
- 2) Kato, A., Nasu, N., Takebayashi, K., Adachi, I., Minami, Y., Sanae, F., Asano, N., Watson, A.A., Nash, R.J.: Structure-activity relationships of flavonoids as potential inhibitors of glycogen phosphorylase. *J. Agric. Food Chem.*, 56: 4469-4473, 2008.
- 3) Kato, A., Minoshima, Y., Yamamoto, J., Adachi, I., Watson, A.A., Nash, R.J.: Protective effects of dietary chamomile tea on diabetic complications. *J. Agric. Food Chem.* 56: 8206-8211, 2008.
- 4) Håkansson, A.E., Ameijde, J., Horne, G., Nash, R.J., Wormald, M.R., Kato, A., Besra, G.S., Gurchar, S., Fleet, G.W.J.: Synthesis of the naringinase inhibitors L-swainsonine and related 6-C-methyl-L-swainsonine analogues: (6R)-C-methyl-L-swainsonine is a more potent inhibitor of L-rhamnosidase by an order of magnitude than L-swainsonine. *Tetrahedron Lett.*, 49: 179-184, 2008.
- 5) Minami, Y., Kuriyama, C., Ikeda, K., Kato, A., Takebayashi, K., Adachi, I., Fleet, G.W.J., Kettawan, A., Okamoto, T., Asano, N. Effect of five-membered sugar mimics on mammalian glycogen-degrading enzymes and various glucosidases. *Bioorg. Med. Chem.* 16: 2734-2740, 2008.
- 6) Kuriyama, C., Kamiyama, O., Ikeda, K., Sanae, F., Kato, A., Adachi, I., Imahori, T., Takahata, H., Okamoto, T., Asano, N.: In vitro inhibition of glycogen-degrading enzymes and glycosidases by six-membered sugar mimics and their evaluation in cell cultures. *Bioorg. Med. Chem.* 16: 7330-7336, 2008.
- 7) Ohara, C., Takahashi, R., Miyagawa, T., Yoshimura, Y., Kato, A., Adachi, I., Takahata, H.: Synthesis of all stereoisomers of 3-hydroxy-pipecolic acid and 3-hydroxy-4,5-dehydropipecolic acid and their evaluation as glycosidase inhibitors. *Bioorg. Med. Chem. Lett.* 18: 1810-1803, 2008.
- 8) Yoshimura, Y., Ohara, C., Imahori, T., Saito, Y., Kato, A., Miyauchi, S., Adachi, I., Takahata, H.: Synthesis of both enantiomers of hydroxy-pipecolic acid derivatives equivalent to 5-azapyranuronic acids and evaluation of their inhibitory activities against glycosidases. *Bioorg. Med. Chem.* 16: 8273-8286, 2008.
- 9) Yoshida, N., Takada T., Yamamura, Y., Adachi, I., Suzuki, H., Kawakami, J.: Inhibitory effects of terpenoids on multidrug

resistance-associated protein 2- and breast cancer resistance protein-mediated transport. Drug Metabolism and Disposition 36, 1206-1211, 2008.

- 10) 堀 雄史, 窪田佳代子, 三村泰彦, 足立伊佐雄, 川上純一: 肺がん患者における塩酸アムルビシン化学療法による副作用の解析 - 化学療法ワークシート作成の試み. Jpn. J. Pharm. Health Care Sci. 34 : 95-102, 2008.
- 11) 藤田智弥, 須佐充, 高木昭佳, 蓑島由佳, 加藤 敦, 坂本純子, 足立伊佐雄: 院内製剤含嗽水の保存期間の検討. 日病薬誌, 44: 1633-1638, 2008.

#### ◆ 症例報告

- 1) 渡部有貴: 神経芽細胞種における同種骨髄救援大量化学療法患者にたいする薬歴管理指導, 第 11 回北陸臨床薬剤業務研究会, 2008, 6, 15, 金沢.

#### ◆ 総 説

- 1) 格谷美奈子: 解決! インスリン使用患者の悩みとトラブル⑤. 薬局, 59 : 117-119, 2008.

#### ◆ 学会報告

- 1) 鶴野浩靖, 中川 肇, 稲崎 聡, 川尻憲行, 牧石信康, 瀬戸美和子: 注射業務の最適化に向けた試み - 急性期病院における運用標準化と注射オーダーエントリの関係. 平成 19 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2008, 1, 24-25, 高松.
- 2) 中川 肇, 川尻憲行, 鶴野浩靖, 瀬戸美和子, 牧石信康, 稲崎 聡: 代替調剤可処方の実態 - 先発品との棲み分け. 平成 19 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2008, 1, 24-25, 高松.
- 3) 窪田佳代子, 上谷幸男, 今村理佐, 足立伊佐雄, 三村泰彦, 北川洋子: 院内感染地域支援ネットワークにおける薬剤師の役割 - 富山県内における院内感染対策アンケート調査を通して. 第 23 回日本環境感染学会総会, 2008, 2, 22-23, 長崎.
- 4) 窪田佳代子, 上谷幸男, 今村理佐, 足立伊佐雄, 三村泰彦, 北川洋子: 手指衛生およびアルコール綿の使用に関する検討 - 地域支援ネットワークにおけるアンケート調査を通して. 第 22 回富山県感染対策研究会, 2008, 3, 15, 富山.
- 5) 加藤 敦, 安井 愛, 蓑島由佳, 豊岡尚樹, 足立伊佐雄: 防已に含まれるヒスチジン脱炭酸酵素阻害成分の研究. 日本薬学会第 128 年会, 2008, 3, 26-28, 横浜.
- 6) 蓑島由佳, 加藤 敦, 足立伊佐雄: カモミールティーで糖尿病合併症を予防できる!?. 日本薬学会第 128 年会, 2008, 3, 26-28, 横浜.
- 7) 高木昭佳, 吉田睦浩, 山之内恒昭, 三村泰彦, 菓子井達彦, 加藤 敦, 足立伊佐雄: 外来化学療法における中止理由とその患者背景. 日本薬学会第 128 年会, 2008, 3, 26-28, 横浜.
- 8) 大原千明, 高橋遼子, 宮川達徳, 吉村祐一, 高畑廣紀, 加藤 敦, 足立伊佐雄: ウロン酸型アザ糖類の合成と  $\beta$ -glucuronidase 阻害活性の評価. 日本薬学会第 128 年会, 2008, 3, 26-28, 横浜.
- 9) 加藤 敦, 那須希生, 足立伊佐雄, 早苗富士子, 浅野直樹: フラボノイドのグリコーゲンホスホリラーゼに対する阻害活性と構造活性相関. 日本糖質学会第 28 回年会, 2008, 8, 18-20, つくば.
- 10) 上山小草, 池田京子, 早苗富士子, 東 泰彦, 加藤 敦, 足立伊佐雄, 浅野直樹: 茶カテキンのグリコーゲンホスホリラーゼ及び肝細胞からのグルコース放出に及ぼす影響について. 日本糖質学会第 28 回年会, 2008, 8, 18-20, つくば.
- 11) 加藤 敦, 那須希生, 足立伊佐雄, 早苗富士子, 浅野直樹: フラボノイドはグリコーゲン分解酵素阻害剤として機能する. 第 25 回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
- 12) 高木昭佳, 吉田睦浩, 山之内恒昭, 三村泰彦, 菓子井達彦, 加藤 敦, 足立伊佐雄: 外来化学療法における問い合わせ業務の解析. 第 18 回日本医療薬学会年会, 2008, 9, 20-21, 札幌.
- 13) 浜元 孝, 山之内恒昭, 藤田智弥, 三村泰彦, 足立伊佐雄, 志水 貴: TS-1 服用後の口内炎発生状況調査報告. 第 18 回日本医療薬学会年会, 2008, 9, 20-21, 札幌.
- 14) 山岸絢香, 笠島茉莉, 今村理佐, 渡部有貴, 中川洋子, 三村泰彦, 加藤 敦, 足立伊佐雄: 富山大学附属病院外来処方における漢方エキス製剤使用実態調査. 第 18 回日本医療薬学会年会, 2008, 9, 20-21, 札幌.
- 15) 田辺公一, 村崎善之, 高木昭佳, 吉田睦浩, 布谷真子, 高畑英信, 池崎友明, 竹内都子, 北澤英徳, 三村泰彦, 足立伊佐雄: 聖隷三方原病院方式 STAS を用いた緩和ケアニードの実態調査と緩和ケアスクリーニングにおける有用

性. 第2回日本緩和医療薬学会, 2008, 10, 18, 横浜.

- 16) 吉村祐一, 大原千明, 加藤 敦, 足立伊佐雄, 高畑廣紀: 5-アザウロン酸類の合成と $\beta$ -グルクロニダーゼ阻害に関する構造活性相関研究: 第27回メディシナルケミストリーシンポジウム 2008, 11, 26-28, 大阪.

#### ◆ その他

- 1) 高木昭佳: 富山大学附属病院における現状と課題. 第2回富山外来化学療法懇話会, 2008, 3, 8, 富山.
- 2) 高木昭佳: 外来化学療法における中止理由とその患者背景. 第2回大腸癌化学療法 Symposium, 2008, 4, 26, 金沢.
- 3) 足立伊佐雄: 和漢薬の調剤業務と情報提供. 第13回富山大学和漢医薬学総合研究所夏期セミナー(和漢医薬学入門講座・現代医療の中の和漢薬), 2008, 7, 4, 富山.
- 4) 豊岡尚樹, 加藤 敦, 足立伊佐雄: 糖尿病性合併症治療薬開発を指向した新規三環系化合物の合成と活性評価. 平成20年度富山大学リエゾンフェスティバル, 2008, 7, 4, 富山.
- 5) 小野敦央: 富山大学病院における治験管理センターの現状と問題点. 大学病院の治験に関する研究セミナー/第3回くすりの有効利用研究会, 2008, 7, 16, 浜松.
- 6) 足立伊佐雄: 海外共同治験への対応と治験の質の向上. 大学病院の治験に関する研究セミナー/第3回くすりの有効利用研究会, 2008, 7, 16, 浜松.
- 7) 川尻憲行: 医薬品の有効性・安全性に関する情報収集について. 富山県医師会医療安全セミナー, 2008, 7, 17, 富山.
- 8) 足立伊佐雄: 漢方処方と病院調剤. 日本薬剤師研修センター平成20年度漢方薬・生薬研修会, 2008, 7, 27, 東京.
- 9) 庄司由起子: TDMの現状と問題点. 富山県病院薬剤師会感染制御研修会, 2008, 11, 8, 富山.
- 10) 高木昭佳: 外来化学療法における薬剤師の役割~安全ながん化学療法を目指して. 第2回富山オンコロジーセミナー, 2008, 12, 13, 富山.
- 11) 特願: 2008-273685.